

高島平七丁目町会

[板橋区]

●アンケート活用

行事やお祭りなどの町会活動に、町会の中心メンバーは熱心に取り組んでいる一方で、昨今加入率が低下傾向にあります。

ヒアリングやアンケートによる調査を実施することで、現状の町会活動に対する、一般住民のニーズや期待、不満や要望等を掘り起こし、今後の町会活動の基礎資料として、現状を数値で「見える化」することを目指しました。



●プロジェクトの流れ

キックオフ

町会の窓口担当者と打合せを行い、プロジェクトの方向性と成果物のイメージの意識合わせを行いました。



町会役員会にて調査概要報告



プロボノチームが、町会役員会に出席し、今回の調査活動の趣旨や方法を説明しました。

●成果物について

既存の調査やヒアリングの結果から、ライフスタイル・家族状況・価値観の多様化により「町会には入るもの」というこれまでの常識は成立しないことが仮説として浮かび上がりました。

そのうえで、町会加入者および未加入者 127 名にアンケートを取りました。その結果、「加入のきっかけがない未加入者」や「距離感を持つ加入者」が散見されることがわかりました。

それらの結果をふまえ、「広報活動の多様化」や「意義と役割を限定したり、明確にした協力の呼びかけ」等を提案しました。

アンケート調査を実施

個別ヒアリングの結果に基づいて、住民向けの質問紙を作成。アンケートを実施しました。

成果提案

約 50 ページの調査報告書と、町会役員会での報告用にダイジェスト版を作成し、納品しました。町会加入率を上げるためのヒントが具体的に詰まった資料となりました。

■ アンケート集計後の感想

- 広報でやるとよさそうなこと
 - 広報手段の多様化
 - 行事の告知、行事の楽しい様子を伝える
 - 回覧板の回覧方法、回覧対象の明確化
 - 掲示板の掲載基準明確化と掲示板の増加
- 行事でやるとよさそうなこと
 - 集客力のある行事（全員参加型）での加入呼びかけ
 - 意義と役割を限定、明確にした協力の呼びかけ
- 勧誘活動でやるとよさそうなこと
 - 加入きっかけのない潜在的協力者へのアプローチ
 - 加入手続きのハードルを下げる（はがき・ネット申込等）
 - 町会費支払いのハードルを下げる（カード払い、自動引き落としほか）

みなさんのお話合いのきっかけにいただければ幸いです